

件名	第18回 蒲田都市づくり推進会議	
日時	令和4年6月30日(木) 14:00~16:00	場所: 蒲田地域庁舎5階大会議室
出席者	27名出席(代理出席含む) 別途資料参考	
配布資料	第18回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

## ◆開会・挨拶

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 浦瀬課長より、挨拶。資料確認
- ・中井座長より、今年度初回の開会として挨拶を賜った。

## ◆出席者紹介

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 浦瀬課長より委員の紹介を行った。

## ◆資料説明

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 浦瀬課長より、蒲田駅周辺地区グランドデザイン(資料1)の説明、蒲田駅周辺地区基盤整備方針(素案)(資料2)について動画による説明、蒲田駅東口地下自転車駐車場の都市計画変更案について(資料3-1)を行った。
- ・都市基盤整備部 建設工事課 武藤課長より令和4年度蒲田駅東口で予定している工事について、VR動画による説明を行った。(資料3-2)
- ・新空港線・沿線整備課 林課長より、新空港線について(資料4)説明を行った。

## ◆意見交換

## 岩下委員)

資料3-1 地下駐輪場の東出入口について、地下自転車駐車場整備に伴い、商店街のアーケードは撤去と聞いている。駅から繋がるアーケードがなくなることに、商店街から意見が出ている。東出入口の屋根の形状を、アーケードの代わりになるような形状にならないか。今からの変更は可能か。

## ⇒大田区武藤課長)

アーケードについては、撤去や移設、形状含めて、今後決めていく予定である。令和8年の初動期に向けて、商店街にとってどのような形状が良いのか、ご相談させていただきたい。

## 田中(常)委員)

資料1、蒲田駅周辺地区グランドデザイン(以下、「蒲田GD」)について、エリア分けの根拠と方法がわからない。色々意見はあるが、これからしっかりすり合わせをして行き、どういうものを誘導するのか柔軟に対応して頂きたい。

資料2の基盤整備方針について、あくまでも現状のグランデュオがある状態での構想であり、果たしてそうなるのかと思う。東西をデッキ1本で結べば良いという話だけでない。駅北側の動線確保は理解できるが、歩行者のみならず自転車や車いすの検討も必要。方向性として東西を改良していく事はわかるが、現況の状態を絵を描いても果たしてその通りになるのか疑問である。

東西を結ぶ事について、もう少し考えて頂きたい。以前から地下自転車駐車場の出入口については、西口から利用出来ないのは何故かと聞いている。自転車駐車をどんなエリアで、どんな人が使うのかまず考えてほしい。西口の駐輪場をどう考えているのかという質問に対して、検討もしていないと思う。東と同じように問題にはなっている。そういうことも考えながら、柔軟に対応してもらい東西の発展をお願いしたい。

## ⇒大田区浦瀬課長)

資料1 蒲田GDについて、各エリアの考え方や設定については概要版には記載されていないが、エリアの特色やエリアのみならずエリア全体で取組むこと事について整理している。

資料2 基盤整備方針については、現状を踏まえ昨年度の鉄道事業者参加する基盤整備研究会で検討してきた内容を盛り込んでいる。ご指摘にある通り様々な施設があり、事業が進んでいく中で、事業者と検討を進める必要がある。柔軟に対応していきたい。

## 田中(常)委員)

駅とまちをどうつなぐのかも大事なテーマである。蒲田駅前広場をペDESTリアンデッキで繋ぐ事が有効なのか、ちゃんと検証してもらいたい。歩道橋をかければ済むみたいなことが端々にみられるので慎重にや

っていただきたい。

#### **望月委員)**

駅東西を結び蒲田のまちが一体となるような通路について、JR と話合いの機会をしっかりとって頂き、具体的に実現出来るプランをお願いしたい。

蒲田駅西口エリアの容積率アップの検討をお願いしたい。新たに病院が立地するなど、多く人が流れていることが分っている。これから建替えの時期に入ってくるので、本委員会でも容積率について関心を持ってほしい。

#### **⇒大田区浦瀬課長)**

東西自由通路については鉄道事業者と検討を進めていく。

容積率については、当時のまちの状況を踏まえて設定したと東京都から伺っている。蒲田のまちの発展に合わせて、地区計画など地域の皆さんと検討をしていきたい。

#### **⇒企画経営 齋藤部長)**

指定容積率は500%から700%だが、現状の東口使用容積率は360%、西口が480%程度で使い切っていない現状がある。使いたい方がいる一方で、そこはバランスを取りながらまちづくりをする必要があり、すり合わせながらやっていきたい。

JR・東急と一緒に技術的なことを検討する会議体をやっている。駅ビル自体は50年以上たっているもので、いずれ建替えが発生する。新空港線整備も含めて総合的に考えていきたい。

#### **田中(彰)委員)**

地下自転車駐車場が整備される事で、駅前広場に自転車が集まり、交通事故を含めた様々なトラブルが発生する事が懸念される。警察・交通課と入念な検討をお願いしたい。

地下自転車駐車場が整備(2,800台)され、現在の暫定自転車駐車場は無くならず、ニーズを考慮しながら減らしていくと聞いている。優先順位をつけて、解除できる場所は早めに解除して、地域の人のために開放してもらいたい。

#### **⇒大田区武藤課長)**

新しい施設が出来る事で交通事故が増えることは望んでいない。これから起こりうる様々な課題解決に取り組みながら、令和8年度の完成に向けて準備を進めていきたい。

#### **⇒大田区五ノ井課長)**

地下自転車駐車場整備に伴い、呑川沿い道路上にある暫定自転車駐車場は優先的に外していくことを考えている。全ての暫定自転車駐車場を廃止できるかについては、慎重に検討していく必要がある。様々な人が自転車駐車場を利用しており、機械式を使いづらいという方もいる。適切な配置を検討していく。

#### **大田区議岡元委員)**

地下自転車駐車場は地下何階になるのか。また、人と自転車の動線はどう考えているのか。自転車を駐車する人と、駐車し終わって出てくる人との交錯はないのか。

#### **⇒大田区武藤課長)**

地下7m、地下1.2階になる。自転車については、南出入口1で入り、南出入口2で出る一方通行。幅員が2.3mあり、歩行者がすれ違えるため、歩行者に関しては双方通行。交通島に設置されるEVは人のみの乗降で、北側のEVについては自転車をおしての乗降が可能である。

#### **⇒大田区五ノ井委員)**

自転車のタイヤを乗せるコンベアがついており、ブレーキをかけると自動で登る仕組みになっている。

#### **大田区議大森委員)**

地下自転車駐車場について、27インチまでを想定とあるが、最近のお母さん方が乗っている自転車はかなり長いのではないかと。将来を見据えた時に、27インチ想定では小さいのではないかと。その辺りの想定・調査はどうなっているのか。

#### **⇒大田区武藤課長)**

現在、子供を乗せる自転車は27インチ・全長1.9mあり、2mまで入る事が可能。対応できる認識である。

#### **大田区議大森委員)**

北側の自転車も一緒に乗れるEVは、ちゃんと2mの長さが入るように設計してほしい。国で設置したPioのペDESTリアンデッキのEVは、斜めにしないと自転車が入らず、1台しか入らない。北出入口は限られた狭いスペースなので、設計段階でよく検討頂きたい。

#### **⇒大田区武藤課長)**

大岡山駅の地下自転車駐車場のEVは自転車が真っ直ぐ入るように設計されている。そのように設計していきたい。

### 岩下委員)

区へ要望ですが、JR・東急も含めた協議を行っているとのこと、地下自転車駐車場は出来るが、JR・東急にも相応の負担をして頂けるような建築計画を作っていただきたい。

### 望月委員)

西口は商店街の中に自転車をとめられて困っている。道路にも多い。西口にも対応をお願いしたい。東急の脇に自転車駐車場があるが、もう少し高くするなどして駐車台数を増やせないか。大田区は違反自転車を撤去するなど摘発する努力はしているが、目先の事だけをやっているに過ぎない。意味があるのか。

### ⇒大田区五ノ井委員)

現在、ユザワヤのところで暫定自転車駐車場を運用している。ほかに環八下の暫定もある。恒常的に使えるところとして、サンロード奥の蒲田駅西口御園自転車駐車場などもあるので、商店街・店舗と連携を取りながら、放置対策を行いたい。

### ⇒望月委員)

御園中学校の前（蒲田駅西口御園自転車駐車場）に停める人はない。駅前になく意味がない。駅前地下を作るから利用する。西蒲田公園地下自転車駐車場なんて活用されていない。作った当時からわかっていた。

### 中井座長)

現状はわかりました。西口もしっかり自転車を検討するというご意見を承ったということにさせて下さい。

### 宮澤委員)

障がいのお母さんから言われることは、東西自由通路を含めた、バス停・タクシー待機場に屋根を作ってほしい。ベンチなども設置し、障害を持つ人だけでなく、いろんな方に使いやすい駅前広場にしてほしい。東西自由通路を含めたバスの利便性なども考えて頂きたい。広い範囲で東西を繋いでほしい。

### ⇒大田区武藤氏)

バス停の集約整備を初動期整備の中で考えている。屋根についても設置の方向で検討している。タクシーも同様である。

### 副座長 屋井先生)

全体的にはご提案頂いた方向で、時間はかかりますが、進めて頂ければと思います。地下自転車駐車場の出入り口付近の自転車と歩行者の考え方について、歩道に自転車が走ってそこから地下自転車駐車場に入りするような絵になっている。柵のようなもので、歩行者と自転車を分けてはいるようだが、自転車しか走行しないのであれば、車道から繋がって車両レーンにしてはどうか。明確に歩行者と自転車を分ける表現をしてもよい。これから長い年月をかけて担当者も変わってくる中で、考え方にずれがないように、自転車と歩行者の考え方について整理いただきたい。

### ⇒大田区武藤課長)

自転車の考え方含めて、誤解のないよう整理をしていく。

### ⇒大田区斉藤参事)

蒲田駅前の整備コンセプトは、蒲田GD将来像にある通り「誰もが安心して気持ちよく過ごせる人にやさしい蒲田」である。歩行者優先のまちづくりを目指しており、自転車が広場に入ってくる事は想定していない。駐輪以外で広場に自転車が入る事がないように考えている。駅前広場は押し歩きゾーンになっているが残念ながら押し歩いている現状もある。先ほど地下自転車駐車場の自転車レーンの話があったが、歩行者優先の考えのもと、細かい技術的なことは、先ほど申し上げた通り、改善の余地もありますので、ご意見いただければと思います。

### 中井座長)

自転車駐車場について、先ほど委員から意見があった通り、自転車は大型化・重量化してきている。将来を見据えた設計をお願いしたい。電動キックボードのような新たなモビリティの出現や、シェアサイクルが普及し、通常の駐輪場ニーズが減ってきた地区もある。近年の動向を見据えた検討もお願いしたい。

駅ビル建替え時期については JR や東急、新空港線のスケジュールもあり不透明ではあるが、そこに合わせて基盤整備方針で、駅舎・駅ビルや、自由通路、駅前広場などの基盤整備について整理し、新空港線の事業化をにらみながら蒲田のまちづくりを進めて頂きたい。

## ◆その他・閉会

### 事務局)

次の第 19 回蒲田都市づくり会議は令和 5 年度を予定している。

以上

◆当日の状況

